

いよいよ高校入試が始まりました

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。今週から高校入試が本格的に始まりました。これから3月5、6日の公立高校一般入試まで、3年生の皆さんは、いくつものハードルを乗り越えていくことになります。皆さんの進路実現のその日まで、「チーム広徳」で頑張りましょう。

さて、校舎内に「差別やいじめ」をなくすための標語が書かれたポスターがいくつも貼ってあるのは、皆さんもよく知っていると思います。これは、皆さんの後輩である広徳小6年生の計画委員会の皆さんが毎年作成し、小中連携の一環として中学校に届けてくれているものです。ここ数年、コロナ禍のためにできていなかった対面での受け渡しが、先日、校長室で行われました。生徒会三役のメンバーが、6年生からポスターを受け取り、春に広徳中学校で再会することを約束しました。その日が楽しみですね。



【少し緊張気味の生徒会メンバー】

○ 3年生、面接練習を頑張っています

今週はまず私立高校と高専の推薦入試、そして1月末からの公立特色化、私立高校一般入試、2月6日の公立高校推薦入試と続いています。推薦入試では、多くの学校で面接試験が課されるため、日々、校長室で面接の最終リハーサルを行っています。一人ひとりが自分の未来のために、志願動機や受験校の特色、中学校時代の成果や高校生活への抱負など、一生懸命に語ってくれました。時にはつまずいたり、頭の中が真っ白になってしまったり止まったり、緊張して思ってもないことを言ってみたりする場面もありましたが、練習を重ねるうちに落ち着いて自分のことを語れるようになってきました。入試で日々の練習の成果が出せることを心から祈っています。ゴールは近いぞ！

○ 面接の試験で大切なことは…

面接では、やはりペーパーテストでは見ることができない熱意や、志望校への気持ちが表れるとともに、緊張した中でも、冷静に対処する能力なども評価されることになります。しっかりと準備した言葉で伝えようとしても、そこに熱意や気持ちが入ってなければ、空々しく聞こえてしまう時もあります。また、自分の体験や確かな将来への希望に裏打ちされた言葉は、たとえ上手な言い方にならなくても、相手の心に響くと思います。面接試験を受験する皆さんは、ただ暗記した文章を間違わずに言うことよりも、まずは冷静になって、もっと具体的に中学校時代の成果や課題、高校生活に向けての希望や努力したい点などを、自分の言葉で素直に表現するようにしてください。

1、2年生の皆さんも受験生になったつもりで、面接について考えてみるのも良いでしょう。例えば、次のような質問に、あなたはどのように答えることができますか？

- ① あなたは、中学校生活でどんなことを頑張ってきましたか？
- ② あなたが、中学校生活で心に残っていることは何でしょう、その理由も教えてください。
- ③ あなたの長所と、短所について教えてください。短所はどうやって克服したいですか？